

「長野県の組織風土を
ともに創りかえませんか」
- 明るく楽しく前向きな職場を目指して -

県職員の皆様、明けましておめでとうございます。
日々、県民の皆様のための公務に励んで
いただき、本当にありがとうございます。特に
近年は、コロナ対応、物価高騰対策、災害
対応など、通常業務に加えて平時とは異なる
業務にも取り組んでいただき、深く感謝
申し上げます。

さて、令和五年(2023年)を迎えるにあたり、
今年こそ皆様とともに考え抜き、実行したい
ことがあります。

「長野県が県民の皆様のために真に役立つ
組織となるためには、どうすればいいのか」

「私たち長野県職員が明るく楽しく前向きに
仕事をするためには、どうすればいいのか」

これから本質的な問題について正面から向き合い、
県組織の風土を私たち皆で創りかえていま
ませんか。

今、社会は大きく変化しています。県民の皆様
のために取り組むべき政策や事務事業にも
また大きな変化が求められています。人口減少
や気候変動、災害の多発化、激甚化や
経済の停滞など直面する課題を克服し、
その先に物質的にも精神的にもゆたかな
社会を築いていくためには、今までの政策の
延長線上にない大胆な政策を立案し、
実行していかなければなりません。

その一方で、多くの職員の皆様が真摯に仕事
に向き合いながらも多忙感や徒労感を感じ、

組織内のコミュニケーション不足が要因と考えられる不適切な事務処理も目立つようになってきます。

従来こうした局面では、行政改革による風通しの良い職場づくり、財政改革と連動した事務事業の見直しなどに取り組んできました。しかしながら、こうした取り組みはいわば対症療法的な対応であり、根源的な原因の解決に至るものではありませんでした。

現在行っている県民の皆様との対話集会で私が感じていることは、真の課題や解決の方向性は県民の皆様自身がお持ちになっているということです。このことは私たちの県組織でも同様です。私たちが解決するべき課題や方向性も、ここに集ったともに働いている一人ひとりの職員の方々の中に存在すると考えています。

こうした考えのもと、対症療法的な対応ではなく、全職員による対話を通じて集組織の風土改革に取り組みたいと考えています。

この取り組みを「かえるプロジェクト」(通称: かえプロ)と名付けます。まずは、この取り組みをファシリテートしてもらうメンバーを30名程度募集します。私たちの組織風土を新しい時代にふさわしいものへと創りかえたいとの強い意欲を持つ方に、是非手をあげていただきたいと思います。(募集に関する詳細は、速くコンプライアンス・行政経営課からお知らせします。)

「かえプロ」が導き出した結論は、組織の長として責任を持ち、各部長の皆さんとともに実行していくことを約束します。職員の皆さんには、積極的・主体的にこの「かえプロ」に参画していただくことを期待します。

長野県という組織が明るく楽しく
前向きな職場となるよう一緒に取り
組んでいきましょう！

2023年1月4日

長野県知事
阿部 守一